
情報連携ツール(LINEWORKS、 かんたんマップ) について

令和4年1月31日

環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室



情報連携ツール(LINEWORKS)について（前年度情報交換会資料）



今までは……

- 電話だと
 - ・相手が不在で連絡がつかない
 - ・複数人に一度に話せない
- メールだと
 - ・写真を送るのが大変（データ容量、カメラからパソコンへの転送など）
 - ・読んだかどうか分からない

LINEWORKSを導入すると……！

メリット

- 現地支援時の情報共有が迅速かつ手軽に行えるようになります。
 - ・LINEのような画面で、スマホからの操作が容易
 - ・スマホで撮影した写真・動画を直接投稿できる
 - ・位置情報の共有も可能
 - ・メール同様、PDFやWORD, EXCELの投稿、閲覧も可能
 - ・誰が投稿を読んだかの確認もできる



実際に令和2年7月豪雨で使用した際の画面



LINEWORKSの運用の見直し



令和2年11月 D.Waste-Net情報交換会において、LINEWORKSの導入に関する説明を実施

令和3年3月 中国の関連会社が日本国内のLINEの個人情報にアクセス可能になっていたことが判明

令和3年4月 **「政府機関・地方公共団体等における業務でのLINE利用状況調査を踏まえた今後のLINEサービス等の利用の際の考え方（ガイドライン）について」**が公表され、LINE利用時における情報セキュリティ対策について言及

令和3年5月～環境省災害廃棄物対策室において、LINEWORKSの運用方針を見直すとともに、機微な情報は取り扱わずかつ災害初動期に必要な情報を共有できる **「かんたんマップ」**の検討を開始

LINEサービスの利用検討時に確認すべき事項（ガイドライン）のポイント

政府機関・地方公共団体等から報告があった類型を基に、今後、同様の利用を進める際に、適切な情報セキュリティ確保のために留意すべき事項をガイドラインとしてとりまとめる。

（1）機密性を有する情報/住民等の個人情報を取り扱わない場合

公表・公開することを前提とする情報や第三者が知り得ても問題の無い情報などのみをLINEサービス上で取り扱うことが明確な場合は、各行政主体におけるLINEサービスの利用は許容されるものと考えられる旨を記載。

（2）機密性を有する情報/住民等の個人情報を取り扱う行政サービスの場合

「民間企業等が不特定多数のユーザーに対して同一条件で提供するサービス（いわゆる「約款による外部サービス」）では、要機密情報を取り扱わせることは原則として禁止されている」ことを明記。
その上で、下記の利用態様に応じて確認すべき事項を記載。

目的

- ・生活環境の保全及び公衆衛生向上の観点から、身近な仮置場や道路脇に堆積した片付けごみの処理を迅速に行う必要がある。
- ・市区町村が片付けごみの収集計画を立てるため、地図上で片付けごみの情報が管理できるツールを導入し、支援を行いたい。



公園に集積された
災害廃棄物



道路端に集積された
災害廃棄物

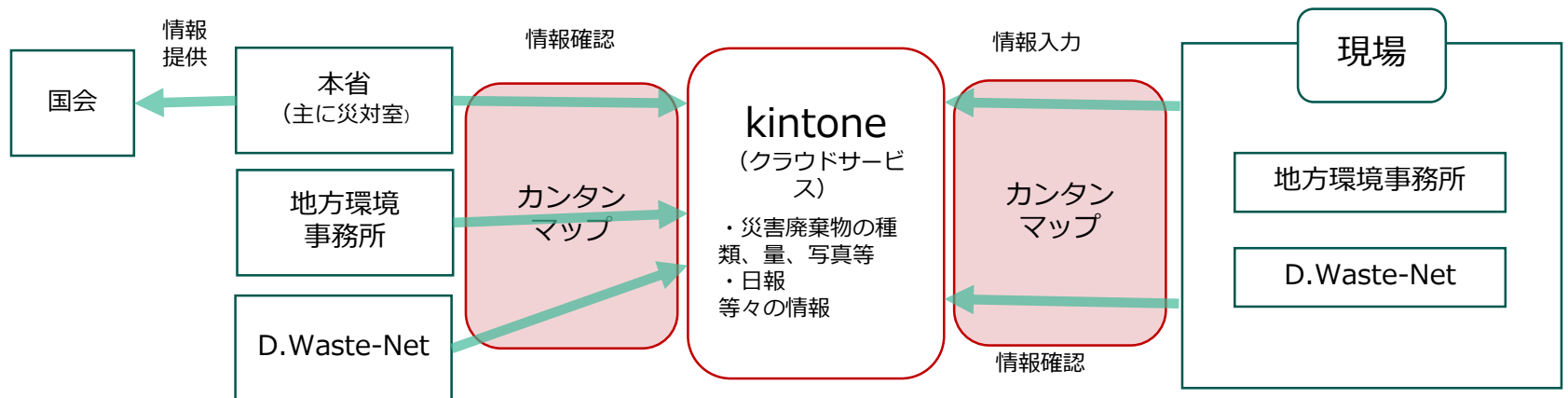
カンタンマップ（地図情報アプリ）導入の検討状況

機能

- ・災害廃棄物の種類、量、写真等の情報を、iPhone等により現場入力が可能。
- 入力情報は、地図上で管理され、災害廃棄物の処理状況（ビフォーアフター）が把握しやすい。
- ・カンタンマップで取り扱う情報は、kintone（キントーン）というクラウドサービスに保存される。

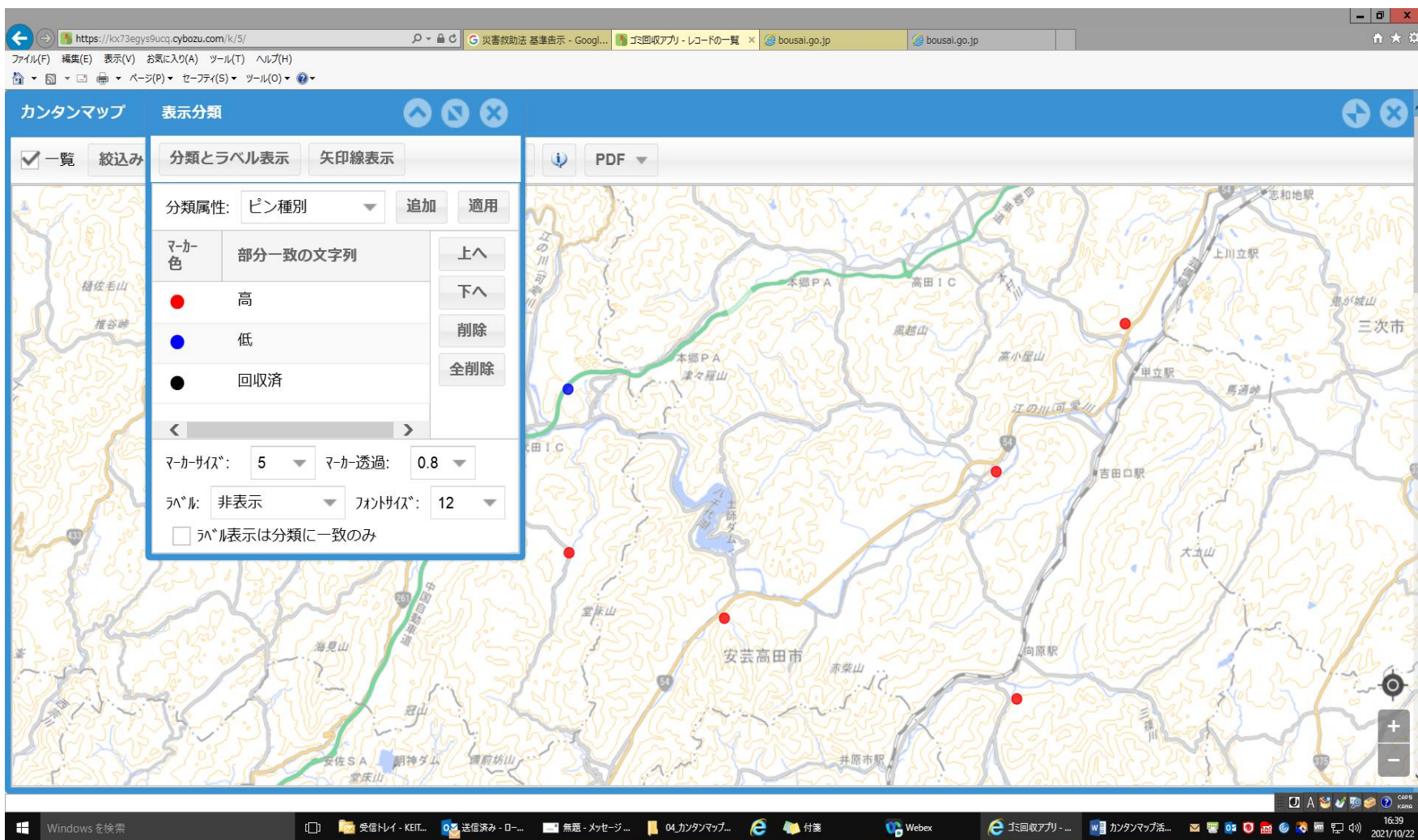
活用イメージ

- ・情報の入力・確認ツールとして、カンタンマップを使用する。すべての情報はkintoneに保存され、登録されたユーザーがリアルタイムかつ同時に情報の入力・確認ができる。



カンタンマップ（地図情報アプリ）導入の検討状況

■ 緊急度や回収の有無をマップ上で確認



カンタンマップ 表示分類

分類とラベル表示 矢印線表示

分類属性: ピン種別 追加 適用

マーカー色	部分一致の文字列	
● 高	高	上へ
● 低	低	下へ
● 回収済	回収済	削除

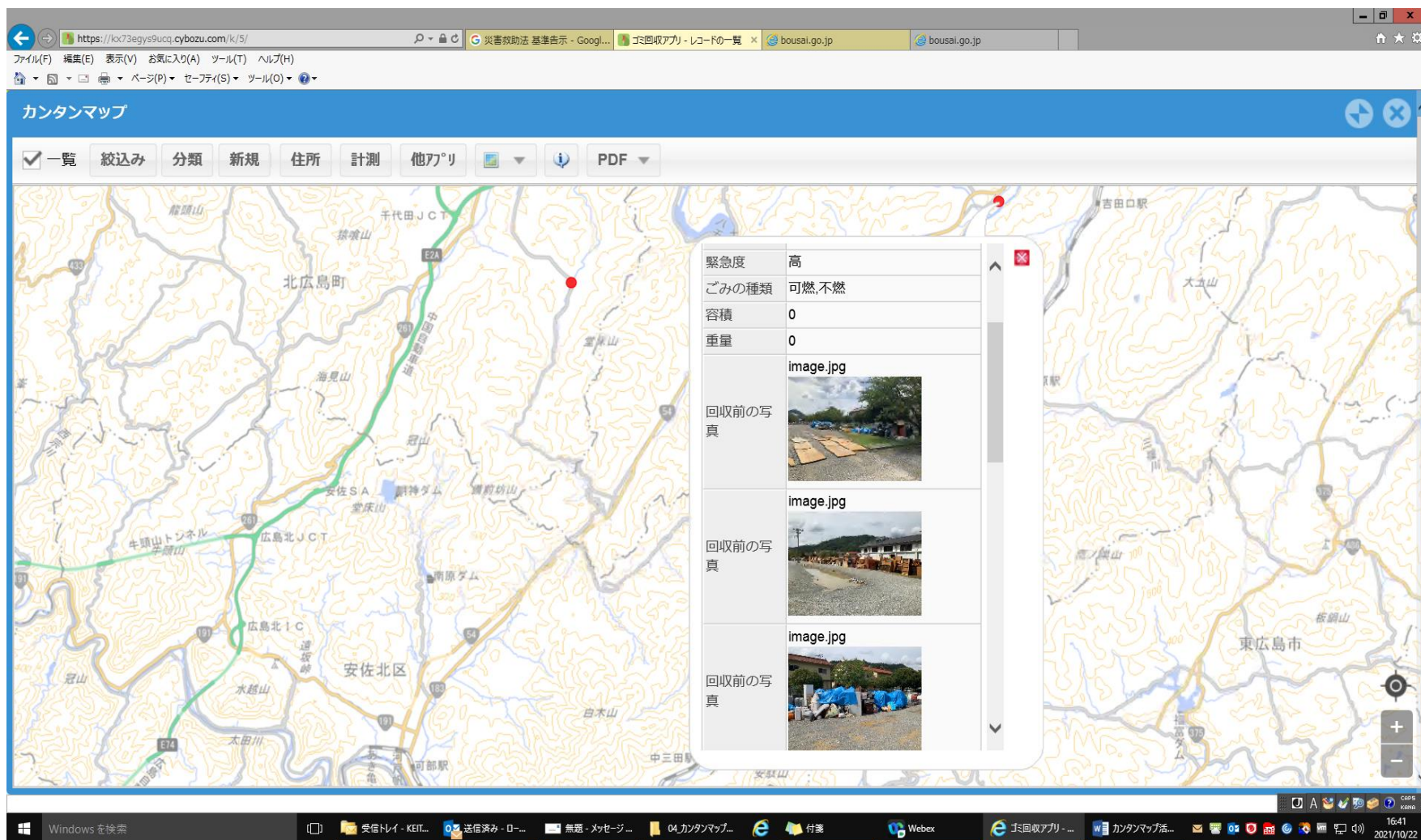
マーカーサイズ: 5 マーカー透過: 0.8

ラベル: 非表示 フォントサイズ: 12

ラベル表示は分類に一致のみ

カンタンマップ（地図情報アプリ）導入の検討状況

■ マップ上からごみの種類、量、写真を確認



緊急度 高

ごみの種類 可燃, 不燃

容積 0

重量 0

image.jpg

回収前の写真

image.jpg

回収前の写真

image.jpg

回収前の写真